



2023武徳杯併に

第46回東海地区拳法優勝大会

12月2日 可美総合体育館

2023武徳杯併に第46回東海地区拳法優勝大会・団体戦が開催されました。
浅井隆夫本部長より本大会の目的は、「苦難への挑戦」と「一人は、みんなの為！みんなは、一人の為！」に大いに闘いレガシーを残しましょう。
と挨拶があり熱戦が展開されました。



試合環境・稽古環境は、大切！



礼徳を学ぶ拳法会



優勝 伝馬穂波

準優勝 可美



第三位 三方原



結果

優勝 伝馬穂波・愛知
準優勝 可美
第三位 三方原

◇武徳杯兼東海地区拳法優勝大会
(2日・可美総合センター)
①伝馬穂波神穂(水野凱斗、伊吹
陸、伊藤蒼生、大滝結介、木田美々
凛、酒井相奈、水谷祐理子、西村美
紅、西村静流)②可美(川端竜司、大
村仁、小針遥斗、安藤悠人、小針隆
明、川端崇裕、筒井健)③三方原(阿
部真大、中嶋悠貴、長坂佑磨、倉田華
光、中嶋大貴、金森湊、根岸和希、阿
部翔吾、中島歩夢、内山星優、金森幹
太、飛驒裕斗、鈴木陽菜、飛驒志穂、
長坂直樹)

2023.12.2
中日新聞

本大会は、1分3本勝負 1試合当たり所要時間は、56試合 全試合時間2336秒(38分58秒)な
ので**41.7秒/1試合**となった。

武道で日本教育ルネッサンス 会員募集中